

# New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2017年8月

「お盆」の時期になると、今は亡き家族、親族、代々の先祖を偲んで墓参りをしたり、記念行事をしたりする家庭もあることでしょう。自らのルーツを思い、家族・先祖を大切に思うのは当然の心情であることと思います。

では、「先祖を大切にする」とは、具体的に何をすることなのでしょうか。

## 札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>



菩提寺の教えに従っていろいろな宗教行事を執り行っていけば良い、と漠然と思っている方もおられるでしょうし、ご自身のお考えがあって、何らかの「供養」をする方もあるでしょう。宗教や宗派によって、国や文化によって、行事の内容は様々です。本来の「当事者」であるはずの、亡き家族やご先祖がどう感じているのか、本人が不在ゆえ知る由もありませんし、考慮されることはありません。

自分自身のことだと置き換えてみたら、いかがでしょう。この地上での生を終えた後、このような行事が行われることに対して、自分自身は意義や喜び、感謝を感じることができそうですか。

## 先祖を大切に思うのなら

自分自身が死んだ後にどうなるのかわからない or 関心が無い、自分が生きている意味について納得がいかない、そういう状態のまま死んでしまった後に、実際に死んで、死後の世界がどういうものかわかったとしたら、残された家族・親族にはどうして欲しいと願うでしょうか。

「お盆」という行事の由来や意味、仏教や諸宗教の教えとの関係などを、調べてみましょう。自分自身もやがて必ず死を迎えるのですから、決して無駄な労力にはなりません。「心を込めてお参りしているから、いいでしょう？」……いくら心がこもっていても、本人の願いに反していれば「ありがた迷惑」かも知れません。

聖書には、死後生き返った人の話がいくつか出てきますが、基本的に死者と生者とはコミュニケーションできないことが書かれています。思い出して偲ぶことはできますが、祈ったり話しかけたり何かしてあげたりすることはできないようです。

なぜ？ それは天地万物(死後の世界も含む)を創造された神様が、そのように造られたからです。それが理解できてくると、先祖が今何を望んでいるのか、どうすれば先祖に喜んでもらえるのか、わかるかも知れません。「ただ、何となく」という「供養」を続けるよりも良いはずです。本当に家族や先祖が大切なのでしたら探求してみませんか。

## 祈ってみましょう

神様とか仏様とかご先祖様とか、今までよくわからずに過ごしてきました。教会のニュースで、「天地を創造した唯一の神様という存在がいる」と読みました。もしそれが本当なら、それがわかるように助けてください。家族や先祖を大切にするための最も良い方法は何なのか、知ることが出来るように助けて下さい。自分自身も、正確な知識を得て、死後に関する適切な準備をすることができるようにして下さい。



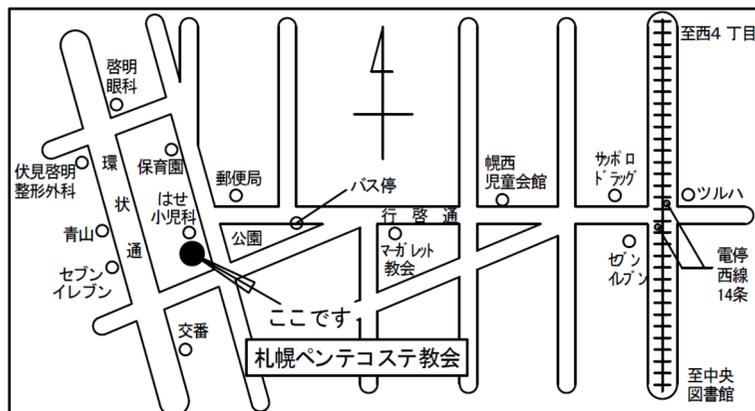
# 教会の定期集会のご案内

- GP クラブ** こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
- 聖日礼拝** メインの集会です。はじめての方は、まずこの時間に来てみて下さい。  
(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会** 神さまを賛美し祈ります。(概ね月1回、木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをさげる」ためのもので、する・しないも、金額も、各自の自由です。その他、ご希望があれば、神様について、イエス・キリストについて、聖書について、ご説明するお時間を取ります。お申し出下さい。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。



## 【教会へのアクセス】

- 西4丁目電停から市電にて  
西線 14条下車
- JR 札幌駅札幌ターミナルから  
JR 北海道バス啓明線[51]にて  
南14条西17丁目下車
- 駐車スペース有